

## 地域密着型サービスの自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念の共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとしての理念・基本方針を掲げ、日々事業所全員で取り組んでいます。	
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の朝礼及び申し送りの時間帯に、理念を全員で唱和し、日々実践に向けて取り組んでいます。	
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ご家族には、各月に発行するホーム便りに理念を掲載し、また、大きな行事等がある場合、参加者のご家族・地域の人々に理解していただけるように話をさせていただいています。	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	利用者様との散歩等で、隣近所の人との挨拶はしているが、気軽に立ち寄ってもらえるところまでは至っていません。	
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	敬老会・消防避難訓練等で地域の民政委員・公民館役員・消防団等の協力を得て、また、参加を呼びかけています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	事業所の力を生かした地域貢献について、職員会議で検討しましたが、結論に至りませんでした。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を行う際、意義を理解するためにも全職員が分担して項目毎に記載しています。また、外部評価実施後に結果を定期勉強会で報告し、改善されていない項目について話し合っています。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で、外部評価の結果について報告し、改善項目について話し合い、委員の方々の意見をサービス向上に活かしています。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市各担当者の方とは、定期以外にも行き来する機会が多く、また、ファックスまたは郵送でも可のものでも直接持参し、相談・報告しサービスの質の向上に取り組んでいます。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護制度の理解は、定期勉強会でテーマを掲げ勉強しましたが、現在今まで該当者がいませんでしたので、活用していません。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会で、不定期ですが、高齢者虐待防止について、話し合いをしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は、契約内容は勿論のこと、また、別紙にて今後のリスク等も理解・納得していただいて、契約締結しています。	
13	○運営に関する利用者意見の反映  利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎月2回市の介護相談員2名の方が不定期に来ていただいて、利用者の意見・不満・苦情を聞いていただき、それを勉強会で報告・話し合いし運営に反映させています。	
14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の暮らしぶり・健康状態・金銭管理・職員の異動等は毎月の個々の便りでお知らせし、事業所全体については、2ヶ月に1回発行するホーム便りにて報告しています。	
15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	個々の便り及びホーム便りで毎回意見・不満・苦情を呼びかけています。また、面会に来られて時など問いかけし、運営に反映させています。	
16	○運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月2回開催する会議・勉強会で職員の提案を聞き、その場で話し合い反映させています。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	日々のスケジュールは決まっていますが、利用者様やご家族の状況によって対応できるように、勤務態勢を考慮しています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>顔なじみの職員が離職する場合は、年休を取得ながら、勤務日数を減らす努力をし、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしています。</p>	
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>段階的に応じて計画はしていませんが、各関係機関からの研修等の案内がある場合は、職員に回覧し、希望者を優先に参加させています。</p>	<p>○ 研修会等に参加する職員が偏っていますので、今後再検討する必要があると思います。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地区の介護支援専門員等連絡協議会・グループホーム連絡協議会・訪問看護ステーションとの定例会議及び勉強会があり、お互い抱えている問題点を提起し話し合いサービスの質の向上に取り組んでいます。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員のストレスを軽減するため、気づいた時に言葉で言う、自分だけで抱え込まないで相談するよう勉強会で話をしています。</p>	<p>○ 職員のストレス軽減になるための方策を職員全員で話し合い、軽減に向けて取り組んでいきます。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>利用者毎に担当者を決め、その利用者の関連する事につきましては、その職員が責任もって対応し、向上心を持てるよう努めています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談から利用に至るまで、ご本人が困っている・不安なこと・求めている等を時間をかけてお聴きし、受けとめる努力をしています。	
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談から利用に至るまで、ご家族が困っている・不安なこと・求めている等を時間をかけてお聴きし、受けとめる努力をしています。	
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人及びご家族が支援を求めている内容につきまして、十分検討し、当サービス以外にも選択肢を提案し、対応に努めています。	
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	原則、入所前にご本人がホームを見学・体験され、後日ご本人・ご家族と話し合い、ご本人が納得された時点で入所されております。	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	介護する・される一方的な立場だけではなく、普段の生活をしながら教えたり・教えられたりして共に学んで、支えあう関係を築いています。	

宮崎県都城市山之口町 グループホームオリーブ（ユニット1）

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会・行事等でご家族が来られた際、利用者様の状況等を報告し話し合い、ご家族と共に利用者様を支援していく関係を築いています。</p>	
29	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>ご家族への外出・外泊・外食・病院受診等でコミュニケーションの場を設け、密接な関わりかたができるよう努力しています。</p>	
30	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>利用者様のお友達やご家族の面会等協力をいただきながら支援に努めています。</p>	
31	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>座る席等、気の合う人と近くに座っていただいたり、職員も一緒にお茶や食事をとり、楽しい雰囲気創りに心がけ信頼関係に努めています。</p>	
32	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>退所された利用者様のご家族にも時には連絡をとり、近況を聞いたりお見舞いに行ったりしています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を取り入れて、利用者様及びご家族の意向、希望を把握し、サービス計画に取り入れ、その人らしくを大切に支援しています。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様・ご家族・介護支援専門員等から情報を収集し、情報の共有化に努めています。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日課記録（24時間シート）に毎日の記録を記入し、状態観察を行い、個々の過ごし方を把握しています。	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当会議を開催し、サービス計画を作成しています。ご家族の参加も要望しておりますが、困難な事が多く、面会時や自宅へ電話連絡して意見を聞くようにしています。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月担当会議スタッフが、プランの評価を行っています。利用者様毎にモニタリングを行い必要に応じ計画の見直しを行っており、特に変化が著しいケースは、その都度変更するようにしています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の日課記録を介護スタッフが記入しており、大事な事は申し送り等で共有し、実践や介護計画の見直しに生かしています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、馴染みの関係を大切にしながら事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族が困難な時は受診を付き添ったり、昔馴染みのご友人の所への外出支援を行ったり、また、ご家族から衣類、消耗品等買い物の依頼がある場合、担当職員が対応しています。面会も消灯時迄は自由に行っています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地区の民生委員の訪問があったり、消防・派出所・中学校からも訪問があります。踊りや歌、写真展示等のボランティアの訪問も積極的に受け入れています。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	2ヶ月に1回、山之口・高城地区の介護支援専門員が集まり話し合いの場を設け、検討しています。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	2ヶ月に1回、地域包括支援センター主催の会議に参加し、勉強会も兼ねて様々な件について話し合いをしています。		



宮崎県都城市山之口町 グループホームオリーブ（ユニット1）

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所前の主治医、協力医療機関との連携は密にとっており、基本的にはご家族も同行となっておりますが、不可能な場合は介護スタッフが代行するようにしており、入所契約時にその旨を説明し、同意を得ております。</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>かかりつけの専門医定期受診日は介護スタッフ及びご家族も同行され日常の様子を主治医へ報告し、安心した服薬調整が受けられるようにしています。</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>午前中のバイタル測定時、一人ひとりの皮膚の浮腫等の観察を行い、昼の申し送りで報告し、受診が必要かどうか検討し、また、訪問看護ステーションの看護師とも連携をはかり相談しています。</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>利用者様が入院したときは、病院関係者及びご家族と情報交換しながら連携を密にし、安心して入院ができるよう努めています。また、普段の病院関係者とのコミュニケーションにも努めています。</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>ご家族と密にし状態を連絡とり、かかりつけ医に受診する場合等または相談する場合は、ご家族が必ず同行し、ご家族が納得し安心していただけるように努めています。</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>重度化や終末期にけ向けて、かかりつけ医・訪問看護ステーション等との話題になりますが、具体的な支援方法には取り組んでいません。</p>	○	<p>重度化や終末期にけ向けて、かかりつけ医・訪問看護ステーション等との連携を図り、今後できる事・きない事等具体的な支援方法に取り組んでいきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>住み替え時は、利用者様・ご家族・別の居所の担当者・ホーム職員で話し合いをし、アセスメント・ケアプランや支援状況等の情報交換を行い、ダメージを防ぐことに努めています。</p>	
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>			
<p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>全体会議やミーティングの折、言葉使い・接遇・プライバシーの確保など話し合い確認し合っています。</p>	
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>日々の生活の中で、利用者様の情報を介護スタッフ間で共有することでその人に合わせた声かけをし、表情を見逃さず決定できる場面を創れるように支援しています。</p>	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>日々のスケジュールは決まっていますが、センター方式を参考にし、個別の活動の枠を別に設けて利用者様の気分や体調等を考慮しなるべく希望に沿った支援を行っています。</p>	
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>相談、声かけしながら希望の服装をしていただいています。髪の毛のカットは美容院に行かれたり、外出の出来方は美容師がホームに訪問していただき、カットしていただいています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホームの菜園で作る野菜の生育状態を介護スタッフと一緒にしながら収穫して旬な物をその日の食材で使っています。また、食事の配膳・テーブル拭き・片付けなどしていただくように支援しています。		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	希望者は毎日、焼酎1合をお湯割りにしておつまみを添え晩酌していただいている。また、嗜好品で特別な物は、ご家族が持参され、日常的に提供しています。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	原則定時に誘導している。しかし、排泄パターンが違う場合は、その人に応じて誘導・介助・見守りし気持ちよい排泄支援をしています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は、原則決まった日に入浴していただいているが、利用者様が希望された場合は、その都度対応し入浴していただいています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	原則、消灯時間に休んでいただくようにしていますが、その時の状態によって臨機応変に対応し、支援しています。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	その人に合った役割・楽しみ事・気晴らしはレクリエーションや個別サービスに取り入れて支援しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族からお小遣いとしてお金を預かり、パンの販売に来られた際、また、買い物等ご本人が出来るように支援しています。		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	週3回程、近くの牛乳屋に牛乳買いに介護スタッフと出かけ支援しています。また、天気の良い日は散歩もしております。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者様と外食に行ったり、ご家族との外出など機会を創り支援しています。	○	今後、より一層外出機会をつくり、季節で様々な所へ出かけるよう取り組みます。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取り次ぎはもちろんのこと、利用者様の希望の場合、スタッフが仲に入り、利用者様とご家族が話をさせていただいております。	○	年賀状や手紙など書いていただき、家族へ郵送するなど方法を考えていきたいと思っております。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時などは、利用者様の居室及び談話室を提供し、居心地よく過ごせるよう配慮しています。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティングや勉強会などで禁止になる具体的な行為など理解してもらい、身体拘束のないよう努め取り組んでいます。		


宮崎県都城市山之口町 グループホームオリーブ（ユニット1）

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	リビングからベランダへいくドアは施錠していませんが、玄関だけは施錠しています。ただし、玄関の施錠については、リビングから一つのドアを先でありますので利用者様から見て弊害はないと考えられます。		
67 ○利用者の安全確認  職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	夜間はプライバシーに配慮しながら2時間毎に様子確認を行っています。昼間に関しては、常時様子を把握し、安全に配慮しています。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理  注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個人の状態を把握して、居室の飾り物、置物等安全に使用してもらうよう職員間で話し合い、危険を防ぐ取り組みをしています。		
69 ○事故防止のための取り組み  転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	緊急時対応マニュアルを冊子にして、日頃それを見ておく事を義務づけています。		
70 ○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	対応マニュアルに沿って手当や初期対応を職員間で確認しながら行っています。		
71 ○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災時の訓練を年2回実施、消防本部・地区の消防団・公民館等の協力を得て実施しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>	<p>入所時、共同生活する中で起こり得るリスクは文書にしてご家族に説明しています。また、入所中についても十分に説明し、職員間で対応策を話し合い実施しています。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎朝のバイタルチェック時等体調の変化等に気付いた場合は、速やかにユニット内の勤務者に報告・連絡・相談をし、対処しています。</p>		
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>利用者別に医療機関受診記録表を作成し、薬の用法・用量、また医薬情報を添付し把握に努めています。</p>		
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>規則正しい便通を得るため、食事の時間や量を一定に保ち、食物繊維質等を取り、また、牛乳等で腸を刺激し、工夫をしています。</p>		
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>口腔ケアは毎食後実施し、口腔内の清潔保持に努めています。</p>		
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食べる量や栄養バランスは、その時の利用者様の状況に応じて調整し、水分補給は記録シートに毎回チェックし、調整しています。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	毎日トイレ・テーブル・椅子・手摺り等消毒を実施しています。また、インフルエンザ予防接種は毎年家族の同意を得実施しており、職員も全員接種を義務付けています。		
79	○食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所内のチェック表を作成し、毎日賞味期限の項目など食材の管理、調理器具の消毒、水回りの点検などを実施し、食中毒の予防に努めています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には、その季節毎の物を置き、また、花を飾っています。また、建物周囲（菜園）でその季節の野菜を作り、以前自宅で生活していた近い環境を提供し工夫しています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	和室の畳にソファを置き、外の庭木が見渡せるよう、また季節毎の飾り物を玄関・食堂等に置き季節感を取り入れ工夫しています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ベランダにベンチとテーブルを置き、利用者様同士をくつろげる場所に誘導し、話題を提供し会話を楽しめるよう工夫しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	居室には、ご本人ご家族と相談し、自宅で馴染 みのある物を置いてあります。整理整頓につつま しては、利用者様の意志等を考慮しつつ、事故が ないよう工夫しています。		
84	○換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のよどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	換気は1日に3回定時に換気し、温度調節は温 度・湿度計を設置し、その状況に応じて調整し ています。		
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	建物内部は、すべてバリアフリーであり、居室の ベッド・タンス等はそれぞれ利用者毎に配置を決 め、また、置物・飾り物の高さも調整し安全に自 立した生活が送れるように工夫しています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	介護度の高い利用者につきましては、洗面所・ト イレ等は近い場所に居室を設け、また、居室の入 り口は利用者様の名前を表示し、混乱しないよ うに工夫しています。		
87	○建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	建物のベランダには、ベンチ・テーブルを置き、 天気の良い日は、レクリエーション等を実施し、 お茶の時間等も利用しています。また、玄関の 外・菜園の近くにもベンチを置き、いつでもくつ ろげる場所を設けています。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

（この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。）

現在、都城市が取り組んでいるセンター方式の事業に当ホームもチームとして参加、事例発表を予定しています。そこで、今後この経験を生かし、他の利用者様も順次センター方式を取り入れていくよう検討しております。